

季刊 みんな仲間

NO.147

2010
10/1

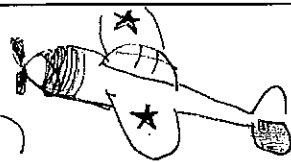
〒610-0121 城陽市寺田垣内後69-1
TEL0774-55-5583

城陽障害児者生活労働センター“うおーく”
みんななかま作業所

メールアドレス mnakama@khaki.plala.or.jp

〒610-0102 城陽市久世下大谷6-291 TEL0774-56-0073 みんな仲間教室

職員研修しています



みんななかまでは、職員集団の質的向上を目指し、夏と冬の年2回、職員全員で、施設内研修をしています。学びたいテーマを決め、講師の先生をお招きして、障害特性に関わる内容から、安全運転のための教習まで、今までに様々なことを学んできました。この夏は、“発達保障”をテーマに、兵庫県立出石特別支援学校の三木裕和先生にお越しいただき講義をしていただきました。以下は、講義を受けた職員の感想（一部抜粋）です。

- ・子どもたちを観察（見る視線・視点）と同時に研修を受ける人に寄り添っていただける講義をありがとうございました。
- ・失敗できなさ、おろかさを丸ごと受け止めてもらえる集団（社会）、丸ごと受け止められる集団（社会）から一人ひとりの発達を築いていけることを学べた（整理できた）。
- ・発達を学ぶ（知る）ことが、人間を大切にすることへとつながっていくことを感じた。
- ・「科学の目で見ることの大切さ」「自閉症担任の放課後の教室の大切さ」の話が胸におちました。共感しやすいわかりやすい例え話で、大事なポイントはしっかり押さえて話して下さったのでよかったです。
- ・自我の拡大期の中にいる児童、もしくはその発達段階の成人の方の抵抗には意味があると教えていただいて“待つ”という大切さを改めて知ることができてよかったです。
- ・“人間を大切にすること”の著者は、本当に子どもたちが好きな人だったと納得した。
- ・具体的な例を出しての問題提起や解説が、とてもわかりやすかった。また、“できない”ということは“いつかはできるかもしれない”という物の見方、別の視点から物事を捉えるという姿勢の大切さが、解説された全ての事例において重要だとわかった。
- ・色々なお話しの中で「〇〇さんの行動と一緒にやナ」「〇〇さんにあてはまるかも」と、仲間の顔がたくさん浮かんで楽しかった。

これからも、いろいろなことを勉強して、職員集団として少しでも成長していきたいです。

amiグループでの、出来事を紹介したいと思います。

うおーから木津川の堤防や水度神社まで歩いて散歩に出かけていたのですが、やっぱりこの暑さには負けてしまい、もう少し涼しくなるまでは、涼しい木陰のある場所まで車で移動して散歩に出ています。セミ取りが大好きなA君、水度神社の木に止まるセミを自分の帽子を使って楽しそうに捕まえていたので見に行くと、なんとその木にだけセミが30匹？40匹？数えられないぐらいたくさんのセミが……！！これも異常気象が原因でしょうか？たくさんのセミにビックリしていたのは、職員だけ。A君は、捕まえても、逃げられても、まだまだたくさんいるセミを嬉しそうに見上げていました。

作業では、リサイクル作業の一つに、パソコンのプリンターで使用した後のインクカートリッジの回収もしています。インクカートリッジも、アルミ缶やペットボトルのように、メーカーや色別に仕分けをして業者に引き取っていただき、そのお金が、通所者のお給料になっています。インクを交換した後、一つでもみんな仲間に届けていただけると嬉しいです。インクカートリッジの仕分け作業が得意なのは、Bさん。一緒に作業した職員が似たような品番がたくさんで嫌になっている横で、Bさんは黙々と的確に仕分け作業を頑張っています。仕分けが終わると、「できた！」と元気な声で伝えてくれます。

暑い毎日、作業や療育をがんばっているので、お楽しみでみんななかまで仕入れているそうめんを使って、流しそうめんをしました。外は、とつてもとつても暑かったのですが、流れてくるそうめんをみんな嬉しそうに食べていました。



ながまたち み~んなのこのごろ

ほっぷ

新年度が始まってはや5ヶ月。年度替わりの時期、通所者はしんどい中ががんばって変化を受け入れる方法を職員と一緒に探し、落ち着ける方法を見つけて成長しています。

Yさんは、自分のやる仕事の予定を表にしてもらう事で、仕事と休憩のメリハリをつけて頑張っています。散歩でも元気いっぱい、長い坂道を一気に走りぬけ、みんなを驚かせていました。またシャイな彼は、遊んで欲しい時はその気持ちを言葉で伝えられるようになってきました。

Tさん(女性)は日々の仕事に、自分の好きな甘〜いお菓子を作るような気持ちで取り組むことにより頑張っています。ちょっぴり苦手だった散歩では、朝の会で一緒に確認することで冷静に行動できています。Nさんは、いつもバリバリ仕事をしています。いろんな仕事をすぐにやり方を覚え、たくさんこなすことができます。散歩では、率先してみんなの一番前を歩いてみんなを先導し、また先に行ってみんなの休憩場所を確保してくれたりと大活躍。

Kさんは、リサイクルの第一人者。いただいた牛乳パックは彼の手によってきれいに分別・整理されます。切って開いた物はきちんと箱詰めをしたり、他にも手伝いをお願いすると快く応じてくれます。Tさん(男性)は、道案内の名人。散歩の途中の十字路や道がわかりにくくなっている時、次はこつと示してくれます。また、牛乳パック回収の仕事にも意欲的に取り組んでいます。Fさんは、みんなの仕事がどれだけできたかを終わりの会で確認し、他の通所者をがんばったと褒めるまとめ役。最後にみんなであうたう歌では、引き締め役として合いの手を入れてくれたりと、ほっぷの中心的存在です。以上、ほっぷのなかまのようすをご紹介しました。

個性あふれる通所者と一緒に一日を過ごすことで、ほっぷの通所者はもちろん、職員も一步一步ゆっくりとではありますが、確実に成長していきたいと思えます。

失敗はたくさんありますが、それを次に活かせるよう、みんながそれぞれががんばっています！今後とも、よろしく願います。

フレンドチーム

フレンドは6月に「大阪市下水道科学館」に行ってきました。そのときの様子をお伝えします。「大阪市下水道科学館」へは、新しくできた「第二京阪道路」を使って車2台で向かいました。新しく出来た高速道路はすごく広くてやたらと空いているのでスイスイ走る事ができましたが、阪神高速に入ると渋滞してきて2台の間に車が入り込んできたりで大変！しかも「何か景色変やぞ〜」と思ったら、降りるところを通り過ぎて甲子園まで行ってしまい、Uターン。そんなハプニングもみんなは逆に興奮して騒いで楽しそうだったのでした。

何とかたどりついて、スーパーへお弁当の買出し。そしていざ、下水道科学館へ。外観はガラス張りのきれいなビルで、中も近未来の雰囲気な、いい感じの施設でした。その中の研修室を借りてごはんを食べました。食べ終わったところで、施設内体験へ。まずは地下に降りて、電車型タイムマシンのような乗り物に全員乗り込んで、ガイドさんの「いってらっしゃーい！」の掛け声と共にゲートが閉まり、発進！実際には映像を見て進んで行くように見えるアトラクションで、車体が揺れたりしてちょっと不安になる人もいたのですが、迫力ある映像にみんな楽しく盛り上がりました。次に屋上にある温室に移動。下水をきれいにした水を回して、その水に肥料を入れ、水耕栽培をしている温室でした。ミニトマトが鈴なりで、つい手が伸びそうになりつつ、その先には何とバナナが！先っぽには花が咲いていて、緑のバナナがどっさりなっていました。せっかくなので、バナナの前で記念写真をパチリ。その下の階には、雨の体験コーナーがあり、警報が出るようなどしゃぶりの雨が降るケースの中に手を入れて雨を触ることが出来ました。その横には3D映画館があり、3Dめがねをつけて上映が始まりました。水滴やしゃぼん球が目の前まで飛んできて、何人かは「きたきた！」と手を伸ばしてつかもうとしていました。横からその光景を見ていると何も無い空中を一生懸命つかんでいる姿が面白かったです。他にもハンドルを回すと噴水が出たり、ボタンを押すと水が不思議な動きをしたりする体験コーナーもあって、最後まで名残惜しそうにワイワイみんなまで遊んでいました。日々何気なく使っている水ですが、いろんな体験をして勉強になったことと思います。楽しく学べる大阪市下水道科学館、ぜひみなさんも行ってみてください！

文責：松本



さくらんど

この夏は、例年に比べて気温の高い日が続きましたね。さくらんどの皆は、そんな暑さに負けることなく、散歩にクラブと体力づくりに励み頑張りました。

そんな中、みんな仲間教室にあるモノが届きました。それは・・・直径2mほどある大きなトランポリンです。空気を入れて膨らまし使用できるもので、ネット部分を外すとビニールプールにもなるのです。

早速、ひとりずつ順番に乗ってみると、ピョンピョンと跳んで遊ぶ人もいれば、ユラユラと寝心地の良さからつい寝てしまう人もいて、それぞれ楽しみ方を見つけたようです。もちろん、プールとしても活用しました。水遊びはみんなが大好き！プールから上がる時、楽しくて「もう終わりなの？」と残念に思う人もいました。トランポリンは、あっという間にさくらんどでの人気者となり、大活躍です。ただ、唯一の悩みは場所をとること。出しっぱなしにしておけるゆったりスペースがこうなると欲しくなったりもします。

そしてもう一つ。水遊びもですが、夏といえばそうめんですよ。さくらんどでは、流しそうめんではなく、新たな試みとして流しつけ麺にチャレンジしました。自分たちでつけダレも作り、それはとても美味しく出来上がりました。流れてくる麺を取るのには難しかったのですが、取れたときには「取ったで！」と言わんばかりの表情で、ちょっとした達成感を味わうことも出来ました。

今年度は、季節感を大切に行事にも力を入れていこうと話しているので、その月々を味わえる取り組みをこれからもしていきたいと思っています。

(文責 大田)

夏季物品にご協力していただいた方々へ

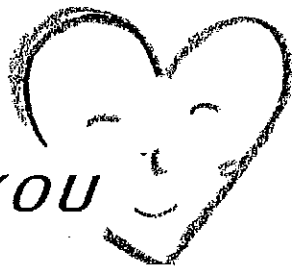
・仕入れ物品を取り扱う事業部・仲間の自主製品・きょうされんなどが連携して今年の夏も夏季物品を販売しました。

今年も例年のように、学校・保護者・地域の方々のご協力により、たくさんの注文を承ることができました。・ありがとうございました。

また、こちらの注文ミスでご迷惑をおかけした方々、申し訳ありませんでした。

夏季物品のお金は、施設の借金返済、きょうされんのお金などになります。

これからも皆様のご協力を力に変えて頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



THANK YOU

6/2~8/25

約25名の方に

お手伝いをいただきました。

おたより担当より

仲間教室が開所されて今年で20年目。当初は手書きで、市職労の印刷機を使わせてもらって発行していたざらばん紙のおたよりも、今やボランティアさんにパソコンで編集していただける時代になりました。

少しずつ変化を持たせてもらいながらも、「みんななかま」のことを広く地域のみなさんに知っていただくための手段として大切に考えています。

この施設は何を大事にしているのか、というようなことを問われることもありますが、その答えになり得るような中身にしていきたいと、事あるごとに試行錯誤をしてきました。実践・運動・運営に日々取り組んでいる私たちのがんばりが、きちんとお伝えできているでしょうか？何かおたよりについてのご意見等がございましたら、ぜひお聞かせください。

未熟ながら、みんなの思いを込めて、これからも発信し続けたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。（文責：かの）

みんななかま後援会新規ご入会・ご更新のお知らせ

みんななかま後援会は、「みんななかま作業所」「みんな仲間教室」を財政的に支援してだけでなく「後援会まつり」なども開催し、地域に施設と地域をつなぐ役割も果たしていくために活動しています。施設法人に対する助言や各種の団体とのつながり作りなどもできればと思います。これからもぜひ「みんな仲間教室」「みんななかま作業所」を支援する「みんななかま後援会」に一人でも多くの方に入会していただけるようお願い致します。

個人1口1000円
団体1口3000円

何口でも歓迎いたします。

口座名義 みんななかま後援会
口座番号 01080-5-19224
住所 城陽市寺田垣内後69-1
電話 0774-55-5583